

秋水通信

第30号

2021. 10. 1

幸徳秋水を顕彰する会
〒787-0010 四万十市古津賀4-41
四万十市生涯学習課内

ホームページ
<http://www.shuusui.com/>
090-6827-9129 (田中全)
メール:zen-tanaka@heart.ocn.ne.jp

秋水非戦の碑

—— 11月3日除幕式 ——

幸徳秋水生誕150年記念事業として
取り組んでいる「秋水非戦の碑」の完成
除幕式を11月3日(文化の日)に行い
ます。

記念事業は昨年6月顕彰会総会で決定
し、事業費の調達のため会員ほか広く寄
付を募っているところですが、多くのみ
なさまのご協力により、すでに目標を達
成しています。

11月3日のスケジュール。
13時 除幕式 正福寺境内
14時30分 記念講演、交流会(2時
間程度)
会場 市立文化センター大会議室

吾人は飽まで戦争を非認す
之を道徳に見て恐る可きの罪惡也
之を政治に見て恐る可きの害毒也
之を經濟に見て恐る可きの損失也
社會の正義は之が爲めに破壊され
萬民の利福は之が爲めに蹂躪せらる
吾人は飽まで戦争を非認し
之が防止を絶叫せざる可らず

幸徳秋水
平民新聞 一九〇四年一月十七日

講師 山泉進 大逆事件の真実を
あきらかにする会事務局長、
明治大学名誉教授

演題 幸徳秋水の遺産(レガシー)
—— 生誕150年を記念して ——

*コロナ禍の中、飲食を伴なう交流会
は開きません。

併せて、四万十市は記念展示を市立郷
土博物館で10月27日から来年1月2
4日まで開催し、市所蔵の秋水遺墨や書
簡などを公開します。

また、市立図書館内の秋水資料室(常設)
も10月中旬から展示の入れ替え(リ
ニューアル)を行います。除幕式参加者
はぜひ一緒にごらんください。

碑文

秋水の誕生日は1871(明
治4)年11月5日。11月
3日は1946年、秋水がめ
ざした非戦の理念をかかげた
日本国憲法が公布された日
です。
また、明治時代は天長節(天
皇誕生日)、昭和前期は明治節
とされており、無期懲役とさ
れた坂本清馬が24年間の獄
中生活から仮釈放されたのも
1934年のこの日です。

1月24日 墓前祭開催
秋水生誕150年、刑死110年

今年の1月24日は雨となった。コロ
ナ禍の中、県外からの参加はなかったが、
10年刻みの節目の年ということもあつ
て、地元だけで例年より多い約90人の
参加があった。

例年通り正午0時半開会。最初に顕彰
会の宮本博行会長が献花したあと追悼文
を朗読した。

続いて幸徳家縁者の木戸秀雄さん、田
中和夫さん、長尾正記さんが献花。

さらに、四万十市長、市議会議長(副
議長)、教育長、中村商工会議所(専務)、
中村地区労、中村九条の会、正福寺住職、
地元県議、高知市自由民権友の会の代表
が次々に献花。

そのあと秋水作漢詩の吟詠と地元で歌
われている演歌「幸徳秋水」の披露。
吟詠は獄中二作。地元吟詠会の中尾幸
三氏が「母多治宛」を、森景信氏が絶筆
となった「偶成」を詠った。

演歌「幸徳秋水」は吉岡和昭氏作詞で、
作曲者の宮本多仁男氏がカラオケでマイ
クを握った。

時は明治の 中村町に
産声をあげた 貴方の使命
誠賢い 少年を
駆り立てる 自由民権
人の為世の為 尽くす人生ですか
有難う 有難う 幸徳秋水

演歌「幸徳秋水」は有線カラオケにも
収録されているので全国どこでも歌え、C
Dもつくられている。(希望者は顕彰会ま
で)

墓前祭のあとは、例年は文化センター
で記念講演会を行うが、今年はコロナの
ため中止した。
異例の墓前祭となったが、みなコロナ
禍の早い終息を願って散会した。



白菊を献花



雨の中の参列者